



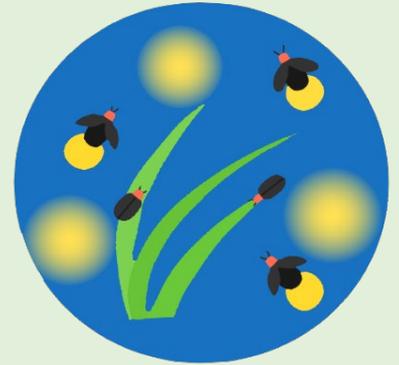
～お知らせ～

早いもので令和3年度の第一四半期が過ぎようとしています。この時期、多数権利や土地評価、境界標設置などの新規の業務も徐々に発注されています。新たな業務の受注に向けよろしくお祈りします。

北陸地方の梅雨入りは、平年6月11日頃ですが、天気予報では1週間ほど遅い梅雨入りになるようです。鬱陶しい梅雨の前にコロナワクチンをとっていた人も多かったのではと思います。6月16日現在、65歳以上の高齢者でワクチン接種を行った人の割合は、新潟県が1回目40.2%、2回目10.5%、富山県が40.6%、8.9%、石川県が51.1%、14.2%だそうです。65歳以上の人口は全国平均で100人あたり27.2人。希望者全員に行き渡るのはまだまだ時間がかかるようです。引き続き感染予防の徹底をお願いします。

コロナの影響で旅行やイベント、飲み会などの自粛が求められ、ストレス度が高くなっているのではないのでしょうか。その上、外出の際はマスク着用！夏に向け熱射病も心配です。特に現場に行くときには、水分の補給などを行い体調に十分注意して下さい。

ちょい悪親父が最近、ちょっと気になることがあります。現役の頃？スーツを着る時にはワイシャツの裾はズボンに入れるのが正解だったはず。だが、リタイア？したシニア世代にとって、シャツの裾をどうすべきかは、大問題です。なんとなく、いままでのクセでズボンにしまってベルトをしてしまいます。しかし、これがやぼったく見えることがあるようです。ベルトを締め付ける必要がなく楽だからと、裾出して着る方もいるでしょうが、これが単にだらしく見えてしまうこともあるから、シャツの着方は大変に難しい。一般的には、シャツの裾を出すか否かは、スタイルと同時に、シャツの着丈によって変えるべきだそうです。どういうことか詳しく説明すると、まず手持ちのシャツを床に広げて並べます。裾が丸く弧を描くタイプと、水平にカットされているものに大別できます。アロハシャツのように水平裾のシャツは裾を出して着るべきシャツ。問題は弧を描くタイプです。裾が弧を描くシャツは、昔この裾の下にボタンが取り付けられていて、股下で閉じて着ていた頃の名残といわれています。裾が長いぶん、背中を丸めて裾が飛び出さないという利点もあり、ビジネススタイルなど、礼節を求められる着こなしにおいては正解といえます。しかしカジュアルにシャツを着る際、裾出して軽く羽織るように着たいこともあるでしょう。そんな時、出す、出さない基準はシャツの着丈（＝裾丈）で判断します。■着丈の長いシャツ、大きすぎるシャツを羽織るのはNG！■鏡の前でシャツを裾出して着たら、後ろを見てください。この時、お尻が半分ぐらいのぞくシャツは「裾出しOK」なシャツです。お尻がすっぽり覆われる着丈のシャツは裾出して着ない方がいいでしょう。胴が長く、短足に見えてスタイルが悪い印象に映るから。付け加えると、サイズの大きいシャツを裾出して羽織るのもNGです。「羽織るように着るシャツは大きいサイズがいい。それに大きいほうが楽だ」と思われるかもしれませんが、絶対にやめたほうがいい。プカプカでシワだらけのシャツは、かえってみすばらしく不潔にも見えるから。どうですか？休みの日は、裾出しシャツで若返りましょう。





「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします。

- ① 昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ② 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③ 休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない



○ホームページに追加項目があれば教えてください！

www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！ 「Aipo」を活用しましょう。